



苅田町青少年育成町民会議だより

家庭教育講演会

期日：平成25年1月25日(金)

会場：中央公民館 第5研修室

★ 演題：「学校教育」と「電話相談」の現場から
カッパ先生のズッコケノート～

★ 講師：福岡市子ども未来局 こども総合相談センター
太田久義先生

カッパに似ているからカッパ先生らしい。太田先生の自己紹介を聞くと、とても今の先生からは想像できない不運で貧しい子ども時代を送られたとのこと。今があるのは、先生のまじめで、ひたむきな態度のせいだと思いました。苦しみを知っている先生だからこそ、人の心の扱いに暖かみを感じました。

わかつておきたいこと

- 1 子育てに完璧という言葉はない。
- 2 子どもは発展途上人で、常に心の中で葛藤している。
- 3 子どもにとって家庭は、個人的な居場所であり、癒され守られる。
安全基地である。(学校は社会的居場所であり、活躍し役立つことができ、認められる前線である。)
- 4 保護者の時は、子どもを包み込み、親になったら、親の背中を見せよう。
- 5 親も自分の人生を共につくり、楽しもう。

最後に、「やさしくなるには」高木いさお作の中に

- ★金持ちになるには運が要る。
- ★賢くなるには時が要る。
- ★やさしくなるには(なにもいらない)…と。

太田先生、また、いらして下さいませ。(関連記事P2) すこやか編集長 松枝玲子



家庭教育講演会

子育てのキーワードは

完璧な子どもがいないように、
完璧な親もいない
「子育ては親育ち」

「子育て親育ち」の カッパ流キーワードは

「私はかあさん」

☞私・・私メッセージ
☞は・・早寝・早起き・
朝ごはん
☞か・・感謝
☞か・・挨拶
☞さ・・さりげない会話
☞ん・・人と話を聞く

（私）：私

☞私メッセージをふだんからこころがける。
☞ほめるときに「～してえらかったねえ」「すごい」等のほめ言葉もいいが、それで「（私は）助かったわ」（例）「（私は）うれしい」の私言葉で（例）「洗濯物をたたんでくれた子ども」「たたんだんでくれた（あなたは）えらい」よりも、「たたんでくれて（私は）うれしい（助かった）」。
（例）「そんなことをした（あなたが）悪いのよ」と責めるより、「そんなことをして（私は）悲しいの」と子どもに相手の気持ちを伝える（考えさる）。

（は）：早寝・早起き・ 朝ごはん

☞早寝・早起きで十分な睡眠をとることで体の疲れもとれ、頭のメンテナンスもでき、集中力が高まり、作業能率がアップする。やる気も起こるし、成長ホルモンも十分分泌される。
☞朝ごはんを抜くと、脳のエネルギーが不足して、集中力や記憶力の低下などにつながる。
☞ベネッセ教育研究開発センターの調査では「早寝・早起き・朝ごはん」ができる小学生は、事実に自動的・計画的に取り組む力ができ、将来的に伸びる可能性が高いという結果が出ている。

（か）：感謝

☞感謝の言葉の代表は「ありがとう」
☞「ありがとう」は、他のどんな言葉よりも相手の心にやさしく届く魔法の言葉。
☞「うれしいな」「助かった」なども感謝の言葉。
☞子どもは、その言葉で、自分が親から大切に思われていることを実感し、安心する。
☞「ありがとう」が口癖になってしまえばしめたもの。

（あ）：挨拶

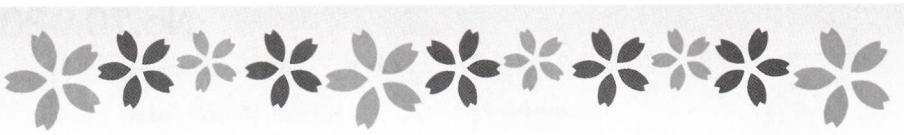
☞挨拶は、人ととのつながりの原点。
☞「おはよう」「いってきます」「ひってらっしゃい」「うんにちは」「ただいま」「おおかえり」「いただきます」「ごらうすま」「おやすみなさい」まで。
☞返事が返ってこなくともあきらめず根気強く続ける。けつして強要はしない。
☞笑顔やしぐさが添えられるると点。

（さ）：さりげない会話

☞ふだん着の言葉のやりとりがさりげない会話に。
☞さりげない会話がさりげなくできるようにならう子どもの返し言葉が「はい」「いいえ」に終わらない言葉かけの工夫を意識してみる。
☞さりげない会話は親と子どもの「日ごろのコミュニケーション」になる。
☞さりげない会話にもさりげないしぐさも添えよう。

（ん）：人と話を聞く

☞子どもの話にじっくりと耳を傾けよう。
☞できれば「聞く」から「聴く」になるよう、「聴く」の意味を考案ながら。「聞く」は「門の中に入つて、つまり聞き先で耳を傾けて聞く」。「聴く」は「耳で聞くだけでなく、それに目と心を足して（＋）聞く」。耳で聞くときはうなずいて聞くところらの気持ちが伝わる。
☞「聴く」親に対し、子どもは「自分の話を何でも聴いてくれる信頼できる存在」と認識する。



第25回理事会を開催しました。副会長の挨拶から始まり、①委員（役員）の改選②理事の定数などについて提案しました。活発な意見が出る中で無事、理事会を開会しました。

平成25年2月5日（火）

第25回理事会



苅田町ふれあいマラソン大会

平成25年3月3日（日）

白川小学校周辺 スタート＆ゴール！



苅田町青少年育成町民会議では、後援ということでゴールをした選手の方々にタオルを配布いたしました。天候にも恵まれ、絶好のマラソン日和でした。





毎月第3日曜日は
「家庭の日」

福岡県青少年育成県民会議より入賞

平成24年度「オアシス運動」・「家庭の日」の作品のうち白川小学校6年の中西眞衣加さんが作文の部で優秀賞をいただきました。

おめでとうございます。

※作品は、前号に掲載しています。

苅田町青少年育成町民会議、今年度最後の活動として、役員委員を対象とした講演会が、2月27日(水)に中央公民館で開催されました。

講師には、唯念寺住職、大久保正信氏、元保護司もされ、経験豊富な中演題は「いのちを見つめて」と大変難しそうで、つい構えてしまいそうでした。

昔から「大人が変われば、子どもも変わる。」と言われてきましたが、同じ自分の人生「子どもが変われば、未来が変わる。」と言われ、その後その子ども自身による「いのちの大切さ」についてのとらえ方を先生が出した内容からお話し下さいました。

1つは、自ら命を絶った母親へ子どもから心の訴えを、母に届けとばかりに発信した言葉を保護司である歌手の千葉絃子さんの体験談として、千葉さんの朗読テープで紹介されました。

もう1つは、小学6年生で右大腿骨骨肉腫を発病し、中学2年生までの短い期間でこの世を去った子が、死の直前まで生きた事への感謝と、前向きな心を車椅子に乗り、弁論大会で発表した内容の一部分の紹介でした。

息を引き取る2日前に母に向け残した「こんな事ぐらいで泣かないで」「心の癌に侵されなくてよかった」自分以外の姉妹に対する心配りから「お母さんが病気にならず私でよかった」と、まだ沢山の心に響く内容でしたが、思わずこの年齢までの「いのち」に感謝と幸せを感じました。そして、心から自分にも、まわりのすべてにも「ありがとう」とつぶやいていました。

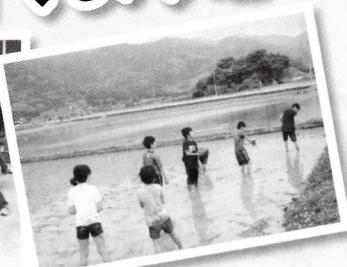
その余韻に浸ったまま情報交換会会場へ移動しましたが、講演会の素晴らしかった事が、あちこちで話題となりました。この会が大変意義深かったと充実した気持ちになり、今後の活動に確かに繋がると確信した次第です。

健全育成家庭部会 部会長 吉野利子

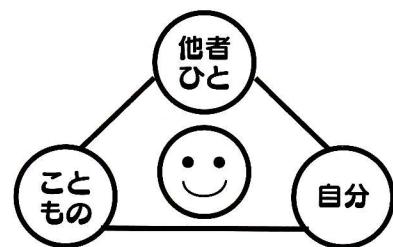




「集団で育てよう!」



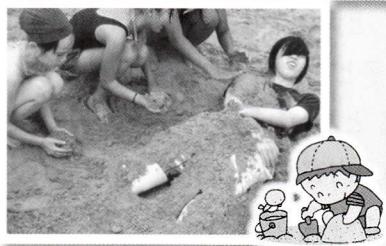
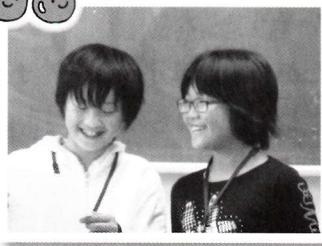
子どもの豊かな経験



中山芳一 著より



集団であそぶ・子どもたち



子ども会よりお知らせします～

子ども会では異年齢で集団活動ができます。そして、子どもたちが他者との関わりをとおして人間関係を学び地域などの問題解決に目を向けて活動しています。

連合会では、子ども会活動が活性化して、それぞれの自己啓発になればとリーダー養成を行っています。

対象はインリーダー(子ども会会員)・ジュニアリーダー(中高生の苅田町在住)です。

一緒に活動をしたい、どんなことしているのだろう…などなど問い合わせしてみてください。

★問い合わせ先: 苅田町子ども会育成連合会事務所(中央公民館内) 携帯:090-4589-3200(田口)。



バア～バアの一言

No.25



できるだけ
沢山の他者と
関わろう…



「ネエ!急須を知らない若者が居るんだって…」
「うそ! それはないでしょ…」

などの会話がバア～バアの井戸端会議でありました。

「今は、お茶もペットボトルであるもんね…」

日本の生活の文化は、まだまだ便利化していくのでしょうか?

無駄な時間を費やしてゆっくりとした余暇の時間も欲しいですねえ…

バア～バアは「便利」=「使い捨て」の思いがあります。バア～バアが

心配するのは、子育てにあんまり「便利」的なものは使って欲しくないです。一つ、一つ段階を踏んで育むことを望みます。それらは親の成長でもあります。おもちゃ、ゲーム機、おやつなどなど、使い捨てになってしませんか? 我慢したり、創造したりして大事に使わせましょう。

我が子に対する親の望みは、自発的で創造性に富み、思いやりのある子、勉強のできる子…ですね!!思いを子どもに話すことは、あまり労力はいりませんが、子どもが気づくようによく話を聴いて、導いていくことは、かなりの努力が要りますね。遺伝的なものもありますしが、努力は大事、「気づき」は、もっと大事と考えます。もう一度、その「便利」を子どもと考えてみては、どうですか?

※気づきとは、それまで見落としていたことや問題点に気づくこと

例:「日々の気づきが成長をもたらす」「子どもたちに気づきを促す」等…。

出会い・ふれあい・体験白川(白川小学校)

本校では、毎年11月の土曜日に「出会い・ふれあい・体験白川」を開催しており、本年度も、11月17日(土)に行いました。目的として次の2つをあげています。

○子どもと保護者・地域の方々との交流を図る。

○日頃お世話になっている方に感謝の意を表す。

本年度も地域の55名の方々に参加して頂き、交流を深めることができました。子どもたちも日頃以上に張り切っていました。



雨天の為体育館で
餅をつきました。(6年)



地域の方を講師に招いて
リース作りをしました。(3年)



ランチルームで「お礼の会」をしました。

道徳教育研究発表会

白川小学校では平成22年度から道徳教育に目を向け、「導入の工夫」「表現活動の工夫」「発問の工夫」を3つの柱にして研究を進めてきました。

そして11月2日(金)に京都郡小学校教育研修会の委嘱を受け研究発表会を開催し、3年間の研究の成果を発表しました。発表会には約100名参加者があり参加者から様々な意見を頂き、職員だけでなく子どもたちも充実した一日になりました。



講演(講師 青木校長)



『放課後子どもひろば』紹介④

町内6校の小学校を順に紹介させて頂きます。今回は、与原小学校です。

体育館でのかるた取り大会



与原校区老人クラブの皆さんにもご協力頂いています。



アジャタの練習



地童座さんの紙芝居



子どもたちは、それぞれにペースを見つけ、また異学年との関わりの中で成長しています。これからも、地域の皆様と共に暖かく見守って行きたいと思います。



ちょっと質問!!

25年度4月から子どもひろばに参加するにはどうすればよいのですか?



▶現在参加されている方も、新しく参加される方も
25年度の申込み手続きを行って下さい。
詳しくは、苅田町役場 子育て支援課までおたずね下さい。
*新1年生の参加は5月からとなりますのでご了承下さい。

苅田町役場

子育て支援課



TEL 093-588-1036

内閣府から
表彰状



11月17日、多年にわたり、模範となる防犯活動、街頭及び青少年補導活動など、環境浄化活動の貢献により内閣府所管の社団法人「善行会」より町民会議理事長 長田祐 汪氏、少年補導員 羽廣正純氏2名が表彰を受けました。

また、12月27日には、吉廣町長へ表敬訪問し、表彰の報告をしました。

今年は、東北地方を中心において過去の記録を更新する豪雪となりました。私は、北九州の住んでいた方々が、春死なんの如月の望月のころと詠みました。桜の咲く春は日本人にとって特別な季節であります。

苅田町でも、桜の名所が沢山あります。近年では、地元や有志の方々のご苦労で立派に花を咲かせるようになりました。桜の花に感謝して、桜守の皆様にも感謝したいと思います。

編集委員

金丸晴樹

25年度すこやか編集委員
編集長 松枝 濱田 尾田 田口 金丸

工藤 晴樹 朝子 弘子 勝枝 玲子
正志

編集後記

編集・発行
苅田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会
093-434-9838

